

1 組 主体的な学び

2 組 対話的な学び

対 象：第3学年1組 37名

第3学年2組 36名

授業者：1組

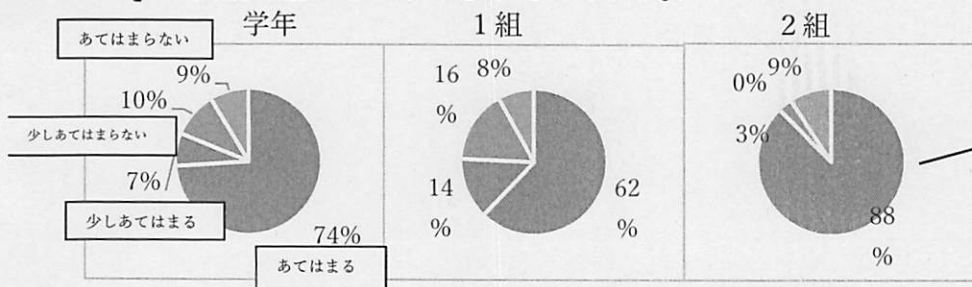
2組

1 単元名

Let's try! 1 「Unit 8 What's this?」

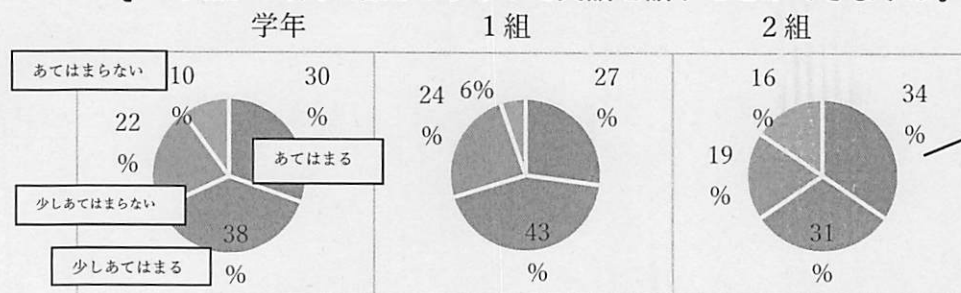
2 児童観

Q2 英語を話せるようになりたいですか。



話せるようになりたいと肯定的に思っている児童は8割を超える。この結果から英語を話すことに対して意欲が高く、向上心をもって外国語活動に挑んでいることが分かる。

Q4 英語の時間・活動でならった英語を話すことができますか。



授業で習ったことについて、「話すことができる」と感じている児童は全体のうち約7割程度とやや少ない。やりとりの表現が長くなったり、扱う単語が増えたりしたことで難しさを感じるようになったと考えられる。

元気で活動的な児童が多い。しかし、児童の生活環境によって英語に触れる経験は様々である。前向きに外国語活動に取り組む児童がいるが、同時に、簡単な会話文にも抵抗があり消極的な児童もいる。そこで、児童が取り組みたくなるような魅力的な教材を提示し、また、楽しいアクティビティやゲームを取り入れ、工夫することで児童の意欲を高める必要がある。児童に合った教材や場の設定をすることで、積極的に活動できると考える。また、既習事項を次に生かし、自信をもって英語を話すことができるように、隙間時間を利用して繰り返し歌を歌ったり、掲示物を工夫したりする必要がある。

3 研究主題にせまるために

(1) 主体的な学び

身近な物を答えにしたヒントクイズを導入で行い、児童の興味・関心を惹きつける。「自分でもやってみたい」、「英語で何と言えればいいのだろう」と学習意欲を高めることで、学びの必然性をもたせる。また、発表の後に振り返りの時間を設定することで、次の発表に生かせるようにする。

(2) 対話的な学び

クイズのヒントを考え、英語やジェスチャーを使いながら相手に伝えることで、対話的な学びを実現する。既習事項を生かし、相手に分かってもらえるようなヒントには何が適切か考え、伝わったときや伝わらなかったときに出てくる感情をプラス1として表現させたい。

(3) 深い学び

既習事項を繰り返し全体で確認したり、掲示して視覚化したりすることで、クイズのヒントとして使えるものがないか考えたり、答えを推測したりするときの手がかりとして活用できるようにする。

4 単元の指導目標

- ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何か尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・クイズを出したり答えたりし合う。(思考力、判断力、表現力)
- ・相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

5 言語材料

(1) 表現(児童の発話)

What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's (a melon). That's right.

(2) 語彙(児童が使う語彙)

・動物 ・果物 ・野菜 ・形容詞 (sour, spicy, sweet, bitter, hot, cold, soft, hard)

6 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語彙や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

7 単元の評価規準

知識・技能	① 日本語と英語の音声やリズムの違いに気付いている。 ② 英語の音声やリズムに慣れ親しみ、歌を歌ったりチャンツを言ったりすることを楽しんでいる。
思考・判断・表現	① 既習事項を用いて、相手に分かるようなヒントを考えることができる。 ② 音声で慣れ親しんだ表現を推測しながら聞くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	① 学習に興味をもち、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

8 単元指導計画(全5時間)

時	目標(◆)と主な活動(○) 主題にせまるための手立て(◎)	評価
1	◆ヒントクイズの手掛かりになる単語や表現を知る(生き物)	
	○「small talk」 ○単元の学習の流れを知る。 ○既習の単語や表現を確認する。 ○テキストのヒントクイズをする。 ○体の部位と、速い遅い、大きい・小さいなどの言い方を知る。 ○ペアでジェスチャーゲームをする。	知-①
2	◆ヒントクイズの手掛かりになる単語や表現を知る(食べ物)	
	○「small talk」 ○既習の単語や表現を確認する。 ○料理についてのヒントクイズをする。(答えを考える) ○料理について「ヒント」を考える。 ○味覚について、言い方を知る。 ○ペアでジェスチャーゲームをする。	知-① 思-①
3	◆やりとりするときの表現に慣れ親しむ	
	○「small talk」質問する側の言葉、言い方を見る。(活動のゴールを見る) ○既習の単語や表現を確認する。 ○グループに分かれてクイズを出し合う。 ○出題者のヒントがわかりやすかったか話し合う。改善があればアドバイスする。	思-② 主-①
4 1組	※9の本時を参照。 3-(1) 主体的な学び	
5 2組	※9の本時を参照。 3-(2) 対話的な学び	

9 本時（全5時間の4時間目）

(1) 本時の目標

相手に伝わるように工夫してクイズ作りをする。

(2) 本時の展開

1 組

主体的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○BESTの確認をする。	☆英語を学習する際に意識すべき BEST (Big&Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	
Warming up 5分	○既習の表現語彙を確認する。	☆児童の様子をみて、定着の浅い単語 は繰り返し練習する。	・イラスト カード
Small Talk 5分	○教師のヒントクイズに答える。 A: Hint quiz! It's sweet. What's this? B: Hint, please. A: It's three. B: Hint, please. A: It's pink, white, and green. B: I got it. It's dango. A: That's right! / Sorry.	☆答えが英語で分からないときは日本語でもよいと伝える。	
Today's goal 2分	○本時のめあてを確認する。 クイズ作りをしよう。	☆課題を提示する。リフレクションカードに書くように指示をする。	・リフレク ションカ ード
Activity 20分	○クイズのヒントを考える。 A グループ（動物） B グループ（野菜） C グループ（果物）に分かれて ペアで話し合う。 △ヒントが思い浮かばない。 ○同じグループの友達に聞いてもらい、アドバイスをもらう。 △自信をもって言えない。 ○完成したクイズを練習する。	☆クイズの流れを確認する。 ☆色・形・数など、既習事項を生かして ヒントを考えるように促す。 ☆ヒントと合わせてジェスチャーも考 えるように促す。 ☆ヒントが思い浮かばない児童には、 まず日本語で考えさせる。 ☆分からない表現や単語は辞書を使っ て調べさせる。 ☆個別に修正・指導する。励ましや良 さを伝える。 ☆友達のクイズの良かったところや改 善すべき点を伝えるように指示す る。	思-① ・イラスト カード
Reflection 10分	○リフレクションをする。	☆リフレクションカードの記入事項を 確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	・リフレク ションカ ード
Closing 1分	○あいさつをする。		

9 本時（全5時間の5時間目）

(1) 本時の目標

考えたヒントで相手に伝えることができる。

(2) 本時の展開

2 組

対話的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○BESTの確認をする。	☆英語を学習する際に意識すべき BEST (Big&Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	
Warming up 4分	○既習の表現語彙を確認する。	☆児童の様子をみて、定着の浅い単語は繰り返し練習する。	
Today's goal 2分	○本時のめあてを確認する。 英語でクイズ大会をしよう。 ○本時の流れを確認する。		
	① 机の形を変える。道具を用意する。 ② 前半チームが出題の準備をする。(簡単に練習する) ③ 前半チームが出題する。(時間でローテーションする。) ④ 出題した側からと答えた側からの小リフレクションを行い、全体で共有する。 ⑤ 後半チームが出題の準備をする。(簡単に練習する) ⑥ 後半チームが出題する。(時間でローテーションする。) ⑦ リフレクションを行う。		
Presentation 1 13分	○グループごとに分かれ、出題の準備をする。(前半チーム) ○前半チームが出題をする。 △自信をもって話せない。	☆ペアの友達と少し練習をする時間を設け、安心させる。	主-① 思-② ・イラストカード
Reflection 1 5分	○出題した側からと答えた側からの小リフレクションを行い、全体で共有する。 △何を修正すればよいかわからない。	☆リフレクションを共有し、後半チームの出題場面で生かすよう声をかける。 ☆修正点を洗い出し調整したり、良かったことを価値づけたりする。 ☆HRTから修正点を伝える。	
Presentation 2 13分	○グループごとに分かれ、出題の準備をする。(後半チーム) ○後半チームが出題をする。 △自信をもって話せない。	☆ペアの友達と少し練習をする時間を設け、安心させる。	主-① 思-② ・イラストカード
Reflection 2 5分	○本時のリフレクションを行う。	☆リフレクションカードの記入事項を確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	
Closing 1分	○あいさつをする。		